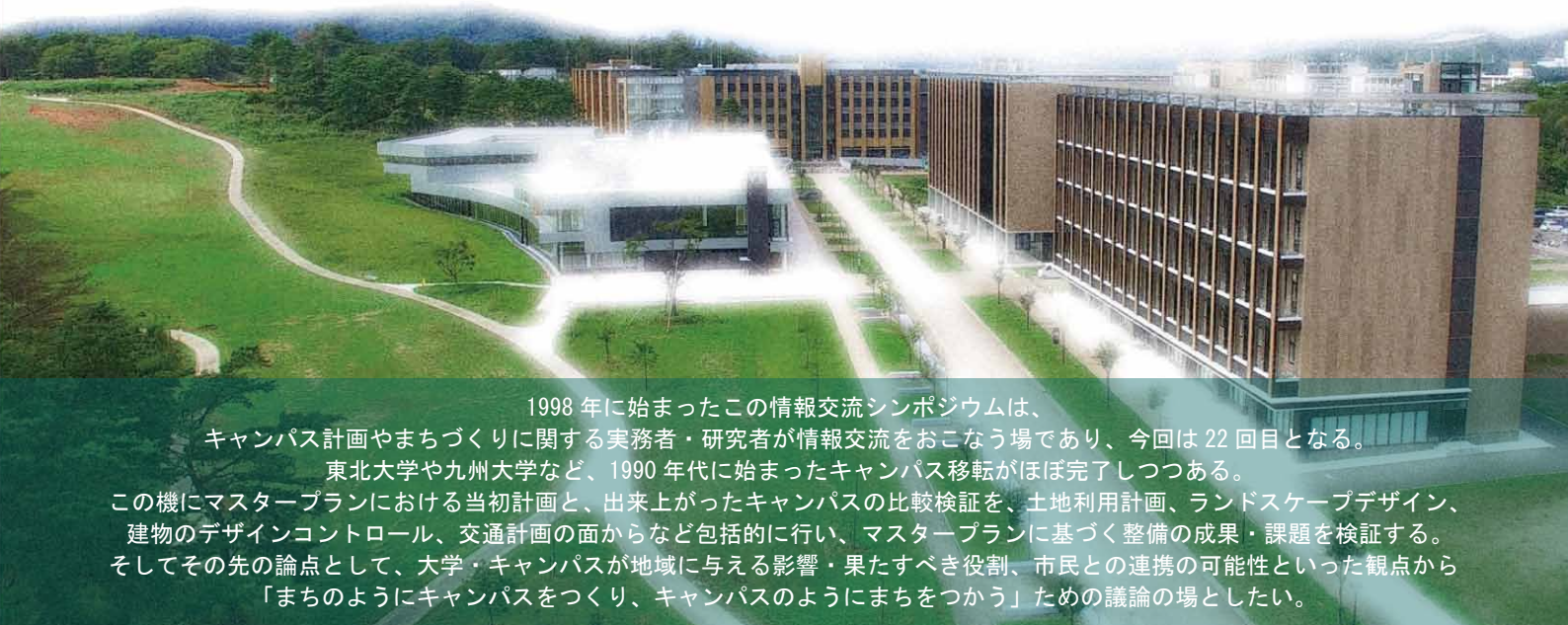


# 新キャンパスで実践されたデザイン ～マスタープランと実際、そしてその先へ～

主催：(一社)日本建築学会 都市計画委員会 企画戦略小委員会 キャンパス・地域再生ワーキンググループ  
協力：東北大学 キャンパスデザイン室  
サステナブルキャンパス推進協議会(CAS-Net JAPAN)、一般社団法人 文教施設協会(RIEF)  
公益社団法人 日本ファシリティマネジメント協会(JFMA)



1998年に始まったこの情報交流シンポジウムは、  
キャンパス計画やまちづくりに関する実務者・研究者が情報交流をおこなう場であり、今回は22回目となる。  
東北大学や九州大学など、1990年代に始まったキャンパス移転がほぼ完了しつつある。  
この機にマスタープランにおける当初計画と、出来上がったキャンパスの比較検証を、土地利用計画、ランドスケープデザイン、  
建物のデザインコントロール、交通計画の面からなど包括的に行い、マスタープランに基づく整備の成果・課題を検証する。  
そしてその先の論点として、大学・キャンパスが地域に与える影響・果たすべき役割、市民との連携の可能性といった観点から  
「まちのようにキャンパスをつくり、キャンパスのようにまちをつかう」ための議論の場としたい。

## 2018(平成30)年9月3日(月曜日)

### 【第一部】 東北大学キャンパス見学会(片平 → 青葉山)

- 10:45～ 受付(1) (片平キャンパス 片平北門会館前ウッドデッキ、右図A01)
- 11:00～11:45 (1) 片平キャンパス見学 (登録有形文化財を中心に。定員30名)
- 11:45～ 移動・昼食
- 12:45～ 受付(2) (青葉山コモンズ2F大ホールホワイエ、右下図J41)
- 13:00～13:45 (2) 青葉山新キャンパス見学

### 【第二部】 シンポジウム 14:00～17:00 (受付開始13:45～)

■会場：東北大学 青葉山新キャンパス 青葉山コモンズ2階大ホール  
(地下鉄東西線 青葉山駅 南1出口から徒歩約5分、右図J41)

■参加費：会員1,000円 会員外1,500円 学生500円 (定員：80名)

#### ■プログラム：

○開会挨拶・主旨説明： 小篠 隆生  
(北海道大学/キャンパス・地域再生ワーキンググループ主査)

#### ○講演(仮題)

- |                                   |                    |
|-----------------------------------|--------------------|
| 1. 東北大学の新しいキャンパスとまちづくり(事例報告)      | 杉山 丞 (東北大学)        |
| 2. 九州大学の新しいキャンパスとまちづくり(事例報告)      | 坂井 猛 (九州大学)        |
| 3. キャンパスは都市側からどうみえるか -ランドスケープの視点- | 池邊このみ (千葉大学)       |
| 4. 大学・キャンパスとまちづくり -まちづくりNPOの視点-   | 豊嶋 純一 (都市デザインワークス) |

○講演者によるパネルディスカッション モデレーター： 恒川 和久 (名古屋大学)

○まとめ： 安森 亮雄 (宇都宮大学)

○司会： 池内 祥見 (大阪大学)



### 【第三部】 意見交換会 18:00～、会費4500円程度(学割あり)、シンポジウム会場近傍としますが詳細未定です。

☆申込方法：①事前受付 2018年8月24日(金曜日)までに氏名・勤務先・所属・同住所・同電話番号を明記し、  
1)見学会(片平・青葉山)、2)シンポジウム、3)意見交換会、それぞれの参加/不参加を明記の上、  
太幡英亮(名古屋大学) [tabata@cc.nagoya-u.ac.jp](mailto:tabata@cc.nagoya-u.ac.jp) までお申し込みください。

②当日受付 定員になり次第、締め切ります。

みなさまのご参加を心よりお待ちしております。